

江南市 地域福祉計画・地域福祉活動計画策定にかかる

地域福祉懇談会の実施要領

(第2回)

目次

1	開催テーマ	1
2	実施概要	1
	①地区ごとの地域福祉の登場人物の設定	1
	②〇〇さんのめざす“しあわせ”を考える	2
	③〇〇さんのしあわせに向け、地域で取り組むべきことのアイデア出し	2
3	ワークショップのルール	3
4	本日のスケジュール	3

平成 29 年 2 月

1 開催テーマ

第2回では、「①地区ごとの地域福祉の登場人物の設定」、「②〇〇さんのめざす“しあわせ”を考える」、「③〇〇さんのしあわせに向け、地域で取り組むべきことのアイデア出し」を行います。

2 実施概要

①地区ごとの地域福祉の登場人物の設定

第1回の話し合いで皆さんに出していただいた地区ごとの課題と魅力をまとめ、そこから読み取れる「課題を抱えている人物」を設定しました。(別紙「開催報告」参照)

登場人物設定は、同じ内容が模造紙に書いてあります。もし、この時点でまとめ方が話し合いの意図と違う、というものがあれば、模造紙に直接書き込んで修正していただいても構いません。

	名前 Aさん 年齢 75歳 性別 男性
Aさん 75歳男性、妻と2人暮らし。定年後も再雇用で働いていたが、65歳で退職した。妻は近所のお友達との交流も多いが、自分は重役として組織でやってきたなかで、いまさら地域参画には抵抗がある。しかし健康にも不安を感じており、何か活動したいところ。	

→

	Aさん 75歳男性、妻と2人暮らし。定年後も再雇用で働いていたが、65歳で退職した。妻は近所のお友達との交流も多いが、自分は重役として組織でやってきたなかで、いまさら地域参画には抵抗がある。しかし健康にも不安を感じており、何か活動したいところ。
	Aさんのめざす“しあわせ”とは？
Aさんのしあわせに向	例えば… ここでは「妻と2人暮らし」とまとめられていますが、「〇〇地区では、むしろ一人暮らしの高齢者の方が問題だね」「75歳はまだ健康だから80歳くらいの方がいいんじゃないかな」というような話が出れば、この部分を「80歳男性、一人暮らし」と修正してもらっても結構です。

②〇〇さんのめざす“しあわせ”を考える

登場人物の設定が決まったら、その人物がめざす“しあわせ”な状態について考えます。

登場人物は何らかの課題を抱えているという設定ですが、どういう状態になればそれが解決したといえるのか、課題解決後の「理想の姿」をまず考えることにします。

そうすることで、この後のステップで考える、「何をすべきか」を具体的に考えやすくします。

Aさん 75歳男性、妻と2人暮らし。定年後も再雇用で働いていたが、65歳で退職した。妻は近所のお友達との交流も多いが、自分は重役として組織でやってきたなかで、いまさら地域参画には抵抗がある。しかし健康にも不安を感じており、何か活動したいところ。

Aさんのめざす“しあわせ”とは？

〇〇〇〇〇〇

Aさんのしあわせに向けて●●地区でできることは？

例えば…

- 地域に居場所がある。
- 健康で暮らせる。
- 夫婦仲良し。 等

ここでの意見はたくさん出た方がよいですが、「近所付き合いが多いこと」「なるべく近所付き合いがないこと」など、真逆の意見が出たときは、グループ内で調整しましょう。

③〇〇さんのしあわせに向け、地域で取り組むべきことのアイデア出し

②で設定しためざすべき姿に向け、地域で取り組むべきことを話し合います。

まず、第1回で出していただいた地区の魅力を書いたフセンを用意しているので、そこから見えそうな取り組みがないかをみてみましょう。その上で、思いついた取り組みなどがあれば追加のフセンに記入して行ってください。

●●地区の魅力カード

〇〇〇〇〇〇

Aさん 75歳男性、妻と2人暮らし。定年後も再雇用で働いていたが、65歳で退職した。妻は近所のお友達との交流も多いが、自分は重役として組織でやってきたなかで、いまさら地域参画には抵抗がある。しかし健康にも不安を感じており、何か活動したいところ。

Aさんのめざす“しあわせ”とは？

××××××

〇〇〇〇〇〇

Aさんのしあわせに向けて●●地区でできることは？

■ ■ ■ ■ △ △ △ △

〇〇〇〇〇〇

第1回で出した魅力が「開催報告」に書かれています。

例えば…

- 男性も参加しやすいサロン内容の充実
- まちづくり活動への参加促進
- 健康づくり活動の拡大等

同じような「しあわせの姿」や「取組」をまとめ、ペンで囲み、タイトルをつけます。

3 ワークショップのルール

- ① 全員が発言できるようにします。発言が長時間にならないよう、話は簡潔にまとめ、他の人の意見も十分に聞けるようにしてください。
- ② 1つのふせんに1つの意見を簡潔にご記入ください。また、ふせんに記載されたことだけが議事録に記録されます。発言したいことは必ずふせんに記入して模造紙の上に貼ってください。
- ③ 異なった意見は特に重要です。いろいろな視点や立場から討議を深め、発表の時にどのようなことが議論になったか、説明をお願いします。

<参考> ワークショップ5カ条

- (1) ワークショップでの検討の目的（趣旨）について意見を交換する。
- (2) 人の話をよく聞き、楽しく議論する。
- (3) 縄張り意識や肩書、立場からではなく、自分の考えを話す。
- (4) 非難や愚痴、文句でなく、建設的な意見を交換する。
- (5) 思い込みや強がりではなく、最後まであきらめず自分の考えを理解してもらう。

4 本日のスケジュール

時間配分	内容
あいさつ (10分)	・あいさつ ・地域福祉懇談会の開催目的等の確認 ・第1回の内容の説明
オリエンテーション (20分)	・第1回の開催報告 ・第2回ワークショップの趣旨、実施方法についての説明
グループワーク (60分)	○模造紙とふせんを使ったKJ法によるグループワーク ○テーマに沿って意見交換をする ①地区ごとの地域福祉の登場人物の設定の確認(5分) ②〇〇さんのめざす“しあわせ”を考える(25分) ③〇〇さんのしあわせに向け、地域で取り組むべきこと のアイデア出し(30分)
発表 (10分)	・各グループ2分～3分でグループワーク結果の発表を行う
あいさつ (5分)	・終わりのあいさつ